

平成 30 年度 第 3 回 三原市地域公共交通活性化協議会 会議概要

日 時：平成 31 年 3 月 20 日（水） 10：00～11：30

場 所：三原市中央公民館 第 1 研修室

出席者：15 名（欠席 5 名）

内 容：

1. 開会あいさつ

2. 報告事項

(1)平成 30 年度路線バスの運行状況の検証について

[事務局から資料 1 により報告]

[質疑応答]

各委員：八幡町で運行するさくら号の利用状況をおしえてほしい。2 点目として、三原市では高齢者優待を運用されているが、この効果を教えてほしい。3 点目として、本日の資料にあったような収支率は沿線住民の皆さん等にも周知されるのか。利用促進のために何らかの形で提示することも必要かと思う。

事務局：さくら号の利用状況について、目標は 1 日 10 人であるが、運行開始月は 1 日の平均利用者は 4.5 人であった。それが町内会の利用促進の効果もあり、月毎に右肩上がり利用が増え、2 月は 8 人程にはなっている。未だ 10 人以上という目標には達しておらず、今後地域とも利用促進を行い、達成していきたい。

各委員：高齢者優待は、半分以上の利用者はこの制度を利用されており、効果は大きいと感じている。

各委員：利用者の 7～8 割が活用されているのではないか。

各委員：他の市町に同様の制度はないので、三原市は特にバスの利用が多い。

各委員：高齢者福祉課が乗降調査を行い、その結果で補填を行っているのか。

事務局：高齢者福祉課が乗り込み調査を実施しており、その結果をもとに高齢者優待の補填額を決めて、事業者に払っている。

また 3 点目の市民への周知については、ご意見を踏まえて、利用に繋がるような情報を提供していけるように工夫をしていく。

議 長：特に収支率が低い所は周知していただいた方が利用促進のためには良いかと思う。

各委員：高齢者の移動を考える際、運転免許返納をどの程度されているのかという話が出た。データはあるのか。利用促進の面でもこうした情報が活用できると考える。

事務局：免許返納については年々増加傾向にある。手元に資料はないものの、データは出ているので、また改めてお知らせする。

各委員：バスを一部廃止するということであるが、高坂町は三原駅からすると一番遠い町であるかと思う。地域内ではバスが通っていない地区もあり、何とか家族で都合を付けて動いている方も多くおられる。三原駅方面に用事がある方は本郷までタクシーで行き、電車で往復されているが、かなり経費がかかる。通院される方はバスではなく、家の前まで来る病院の送迎バスで間に合っている。そのため、バスが通っても乗っておらず、赤字が出るだろうと個人的には思うが、市の皆さんと話しをして何か取り組んでいきたい。いつもバスを使っている人が 4,5 名おられるが、大変喜

んでいる。そういう方にも配慮して、協議の場へ持って行きたい。

事務局：市としても地域の役員さんと協議をしていきたい。

議長：行政としてどういう支援があれば地域の助けになるかということも、これから議論を進めていければ良いかと思う。

各委員：三原駅と広島空港を結ぶバスは補助対象ではなく、中国バスの運行路線ということでよいか。

事務局：国と県の補助対象である。市の補助も対象となるが、条件に該当しない状態が続いており、今は市としては補助をしていない。

各委員：当社では乗務員不足が大きな問題となっている。乗務員の平均年齢も高い。また免許を返納した方も、バス停まで歩いて行くのが難しくなっているという状況で、中々バスをご利用いただけない。そのため、1便あたり10人に達さないところは他のモードに切り換えて、より家の近くから利用できるような環境を作るべきではないか、という思いもある。限られた乗務員をどのようにしていくか、ということが今後の課題である。

3. 協議事項

(1) 平成31年度三原市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案）について

[事務局から資料2により説明]

[質疑応答]

各委員：次期計画は計画期間の更新ということになるが、策定のポイントとして、まちづくりを重視して検討いただきたい。一昨年の12月にまちづくりに関する計画を作られたが、面だけではなく、まちづくりと連携することで公共交通が効果的になってくるであろう。より踏み込んだ議論を進められたら良いかと思う。ただの期間の更新ではなく、しっかり議論をしていただきたい。

事務局：その辺りも十分加味した形で作っていきたい。まずは素案を作り、会議で協議をさせていただきたい。

各委員：広島空港が民営化し、営業時間が変わるが、これを何とか取り込めないかと考えている。まちづくりにも関連すると思う。

議長：行政に対して何か情報は流れてきているか。

事務局：特に把握はしていないが、色々な面を見ながら対応していきたい。

議長：また情報があれば紹介いただきたい。

各委員：以前に大和町ふれあいタクシーが広島空港に乗り入れることが出来れば、という意見があった。現在は旧町ごとにコミュニティ交通が走っているが、相互に影響するような形ができればニーズを満たすことも可能かと思う。広島空港という資源を公共交通に活用するのも面白い。三原市には航路もあり、陸・海・空がすべて揃っている。それが相互するという視点は出していきたい。

時刻表について。これでは利用促進に繋がるか疑問であり、少し何か工夫が欲しい。QRコードの活用や、PASPYを利用すれば1割引になる等の情報、写真やイラストがあっても良いと思う。来年度以降、もう少し内容を充実して配布していただければと思う。

事務局：利用しようと思ってもらえるような情報も含めて検討したい。

議長：竹原市では空港から港まで 1,000 円で乗合タクシーが出ている。そういったものが三原にもあれば良いかもしれない。参考にされても良いかと思う。

各委員：甲山線が災害対策ダイヤということであるが、国道 432 号線がまだ通行止めである。滑落した道路の復旧がまだ進んでいない。復旧の目処は来年の 2 月くらいと聞いている。

各委員：国道 432 号線の早期復旧は市からも要請しているが、被害は甚大であり時間を要するようである。ただし、未確定ではあるが、この 4 月から半年程度、一度片側通行で開通するという話は聞いている。

各委員：自治会の責任者への説明会でも、片側通行の話は聞いている。ただし、信号が多くつくことになるので、所要時間は今の迂回ルートと大きく変わらないのではないか。

議長：こうした情報の共有は非常に重要である。今後も情報が入れば、お知らせいただきたい。

歳入歳出予算（案）について了承いただいたということでとりまとめる。

(2) 第 2 期三原市地域公共交通網形成計画策定業者プロポーザル選定委員会設置要領（案）について

[事務局から資料 3 により説明]

[質疑応答]

議長：選定委員会では、この会議の中から委員をお願いすることになるが、その際はぜひ協力をお願いしたい。

プロポーザル選定委員会設置要領（案）について了承いただいたということでとりまとめる。

(3) その他

各委員：先程、大和ふれあいタクシーの空港乗り入れの話題があったが、仮に空港に乗り入れると車両を 1 台追加する必要があり、市からの補助で運行する現状では難しいと考えている。常時利用がある訳ではないので、利用したい場合はタクシーを活用して、これに補助するなども考えられないか。世羅中央病院を含めて、域外へ行く場合どうすればよいか考えていきたい。今のまま単純にはできないので知恵が必要と思う。

事務局：内容については、地域の事情もあり、今後協議させていただきたい。

議長：その他、委員の皆様からご意見等はないか。無いようであれば、本日の会議は終了する。

4. 閉会